



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/ナシオビル ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第 3261 回例会・2019年9月25日

本日のプログラム

ゲスト卓話

「PTAの役割と今後について」

北見市PTA連合会 会長 吉田 哲 様

2019～2020年度国際ロータリーテーマ

『ロータリーは世界をつなぐ』

R. I. 会長 マーク・ダニエル・マローニー

第 3260 回例会（9月18日）の記録

司会 帰山親睦活動委員長

ロータリーソング それでこそロータリー

ゲスト 米山奨学生 北見工業大学 タン・ペイユ 様

会長挨拶 長屋会長



.....おじゃまします.....当時日本中を笑いの渦に巻き込んだ
南州太郎をご存知でしょうか～？

30～40歳の会員14名は「長屋さん、何言ってるのだろう～」の世代、

50～60歳の会員34名は「そう言えばそんな人が居たなあ～」と言う世代

70～80歳の会員12名は「居た、居た、南州太郎、おじゃまします。あの言葉が面白かったよなあ～」と言う世代、
北見RCはこのような3世代の方々で形成され82年の歴史を経ている訳でございます。70～80歳世代は今の時代のように一人一人が電話を持って歩く時代が来るとは思わない世代でありますし、30～40歳の方々はコンピューターがあって当たり前、携帯所持も何の違和感もなく生まれて来てる方々でございます。その両方の時代を少しでも経験している中間層の50～60歳の会員がこれからの歴史を刻むにあたって、30～40代の会員と70～80代の会員の方々へのクッションの役目を果たしながら更なる北見RCの90年、100年の歴史を築き上げて行かなくてはならない訳でございます。

初代会長であります伊谷半次郎様がチャーターメンバーとなり発足しました野付牛クラブが今の北見RCの前身であります。当クラブは帯広RCがスポンサーになっておりまして、発足時、昭和12～13年当時は会費が1ヶ月5円・食事は一回に1円・国際RCへの分担金6円40銭・会員への香典代10円、1ヶ月毎に精算をしておりました。そして当時の世相を反映した奉仕活動で面白いのは、旭川陸軍病院に映写機を贈呈81円抛出献金とあります。映写機ですから、まだテレビの無い時代だという事が分かりますが、更に興味深い話の中で政府に対して胸にしているロータリーバッジ14金を造幣局で換金して国防費に充てているというような事もしていた訳でございます。当時の貨幣価値と今では2,000倍～3,000倍も違う時代でした。恐らく帯広RCがスポンサークラブでありますので当時の北見RCも金銭的に似たような事をしていただろうかと考えられます。

益々の北見RCが90年、100年の歴史を築き上げます事をご祈念申し上げ私からの挨拶と致します。

幹事報告 潮田幹事

1. 地区大会にご出席の方に、メールもしくはFAXで詳細を送らせて頂いております。ご確認願います。不明な点がありましたら私の方までお尋ね下さい。宜しくお願い致します。



プログラム

「記念講話」

坂井 浩 直前会長

今日は創立記念夜間例会ということで、今まで歴代の会長、先輩諸兄、そしてここにお出での皆様のお陰で今日が迎えられたということで、皆様と共に慶びを申し上げたいと思います。

まず歴代会長でございますが、初代は伊谷半次郎パスト会長でございます。1937年（昭和12年）9月19日、帯広RCをスポンサーに、野付牛クラブとして誕生したということでございます。発会式、50周年誌をよく読むと、チャーターメンバーの承認の時は26名ということで、26名の方の写真が出ております。そういった意味

では50周年誌を見て、気がついたことでもあります。伊谷半次郎会長は当時野付牛商工会の初代会頭ということでございました。現在永田会頭をはじめ、13人の歴代の会頭さんがいらっしゃるのですが、その内の11人が北見RCということで、私の主観ではありますが、矢張り商工会の中、経済界の中で大きな役割を果たしたクラブという風に思います。

そして二代目でございますが、松戸実パスト会長…。実は10年於いた会長でございます。この10年というのは、いわゆる第二次世界大戦時の政府の言論統制がかかり、自発的に北見RCが解散を余儀なくされたという10年でございます。その中で職能クラブ、水曜クラブという名の下に会合を持ったそうです。その10年の水曜クラブを引き継いで、水曜日が例会日ということになったようでございます。そして1952年に旭川RCのスポンサーによって復帰となります。この時にリチャーターメンバー34名で復帰をしたということでございます。そんなことが垣間見れたことでございます。

それから、当クラブでは3人のパストガバナーを輩出することが出来ました。1970年～1971年は伊藤元一パストガバナー、2007年～2008年は海田司パストガバナー、2016年～2017年は駒形パストガバナーということで、3名のパストガバナーを輩出しています。そんなことでは歴史の重みを感じます。

北見RCの強みということでございますが、今現役のパスト会長が16名いらっしゃいます。それと経験豊富な10年以上の方も18名います。また、出先の方が15名位、女性会員が4名います。そういうことでは、このような方々が融合してロータリー活動をしているということが強みでございます。他のクラブには無いと思います。そんなことでは、北見RCは矢張り凄いなとつくづく痛感しました。

先程商工会議所の話をしましたが、北見信金さんの歴史を辿りました。今金田理事長さんで12代であります。過去5名の北見信金さんの理事長が北見RCに居られました。所謂北見の経済界を牽引してもらっているメンバーが北見RCにいらしたということでは、改めて凄さというのを、年表を作っていて思った次第であります。

これから85年、90年、100年と続くわけでございますが、未来に向けて北見RCがどうあるべきかということが、我々もそうでありまして、若い方も先輩の背中を見ながら、100年に向けて行くということがどういふことなのかということを見つめていくのが大事なのかなと思います。

結びでございますが、私は2010年に入会して、そこで初めてロータリーを分かったと言うか、ロータリーは親睦と奉仕ということでありまして、私の人生の中で奉仕ということが常にあるということではそれまでありませんでした。ロータリーは『超我的奉仕』ということで、見返りのない奉仕をなささいということでございます。そんなことでは、私の人生はずごく豊かなものになったのかなと。それから『4つのテスト』であります。これはそれぞれの行動規範ということで、4つのテストに則って行動しなさいということだと思います。そのようなことをロータリーで知って、そんな人生を歩めたのはロータリーなのかなと思いますし、人の出会いは所謂偶然はないと思います。この世に初めて皆さんと出会えたのも必然であり、ロータリーに入って出会えたのかなと思います。そんなことで自分がどこまでやれるか、どこまでいけるかわかりませんが、この素晴らしい北見RCの83年目を改めて自分なりに過ごしたいなと思います。



「北見RC創立記念夜間例会懇親会」
岡村会長エレクトによる乾杯

桑原SAAによる締め

【次回10月2日】 グループ談義【4】 「貴方のこだわりは何ですか？」

編集後記 朝の最低気温が10℃を下回り始めました。皆様、どうかご自愛を！ (A.K)

2019～2020年度 北見R.C.活動方針
ロータリーに誇りを持ち行動する

ガバナー・エレクトとは
次年度ガバナーに就任する方です。ガバナー・エレクト研修と国際協議会への出席が義務とされます。